

研修で
学校が
変わる

授業づくり研修① まとめ

令和3年5月20日（木）

Web会議による遠隔研修



「学習する集団」を育む授業づくり

講師 高旗 浩志 氏（岡山大学 教授）

【研修のねらい】

■子どもが主体で学び合う魅力ある授業づくりを理解し、授業力向上を図る。

授業はシンプルに!!

どのように教えるか?

消極的

成功体験

どのように学び取らせるか?

内発的動機付けを喚起

明日への想い（受講者の声）

～研究主任として～

- ・二重のスケジュール管理をしなければならないことが分かった。自分自身が見通しを持つとともに、学校全体でスケジュール感を持って実践を積み重ねていけるよう、計画の見える化を行いたい。

研究主任の関わり

- 授業改善・授業研究の文化を創る
 - ・参加型校内研修の実現
授業公開者が得し、参観者が主役になる
 - ・学習指導要領（解説）と教科書教材を共有 → 子どもが教科書を使い切る授業づくり
 - ・学習指導案の共有
- 二重のスケジュール管理

シンプルな授業

- 見通しを持たせる（めあて）
- 「個の自力解決」の時間確保
議題に対して自分の心を耕す
→自己内対話
- 考えたことを交流・共有する
支持的風土のある授業づくり
→学びの高まり

- 個人の学びの変容
- まとめとふりかえり
→1時間の学びの意味づけと
価値づけを行う
- 家庭学習と授業をつなぐ
→予習課題の設定
→家庭学習の質の向上

授業力 = 教科指導力 × 学習指導力

教師こそ
成功体験を!!

明日への想い ～校内研修の活性化へ向けて～

- ・全員参加型の研究会を計画していきたい。
- ・校内研修で授業公開者が最も得をし、かつ参観者が主役になる研究授業に取り組みたい。
- ・研究授業では、授業者・参観者が共に提案し、課題意識を共有できる参画型校内研修会を行いたい。
- ・校内研究会で全職員に共有するとともに、講師や若手の先生を中心としたミニ研修会を実施して、指導案の書き方や授業づくりなどについて議論したい。
- ・授業研究会をする際に、提案性のある授業をすること、自校の研究仮説を検証する場であることを意識したい。
- ・全体に指導案を書く力、子どもが教科書を使いきる授業づくり等を今後の本校の研究推進に活かしたい。

明日への想い ～児童を活かす授業づくり～

- ・授業作りについて、全職員で共通理解をもちたい。若い先生も入ってきたので、学習指導案の書き方や検討するポイントについても確認していきたい。
- ・日々の授業では「わからない」をたくさん出せる支持的風土作りに今すぐに取り組みたい。
- ・グループで考え方を交流し、自分の考えがどう変化したか、またはしなかったか、などしっかりと「言葉の世界に帰着させる」ことを意識して授業作りに取り組みたい。
- ・学習中の交流・共有場面では「班の意見をまとめましょう」と指示しがちだったが、児童の考えを切り捨ててしまっていたことに気づかされた。
- ・授業の中で、補助説明をすぐにするのではなく、自己内対話の場面を作っていきたい。